

横浜港におけるGXの推進に係る取組

カーボンニュートラルポートの形成

2025年1月31日 新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会



横浜港が目指すカーボンニュートラルポート



船舶からの排出ガスの可視化サービスの活用

RIGHTSHIP

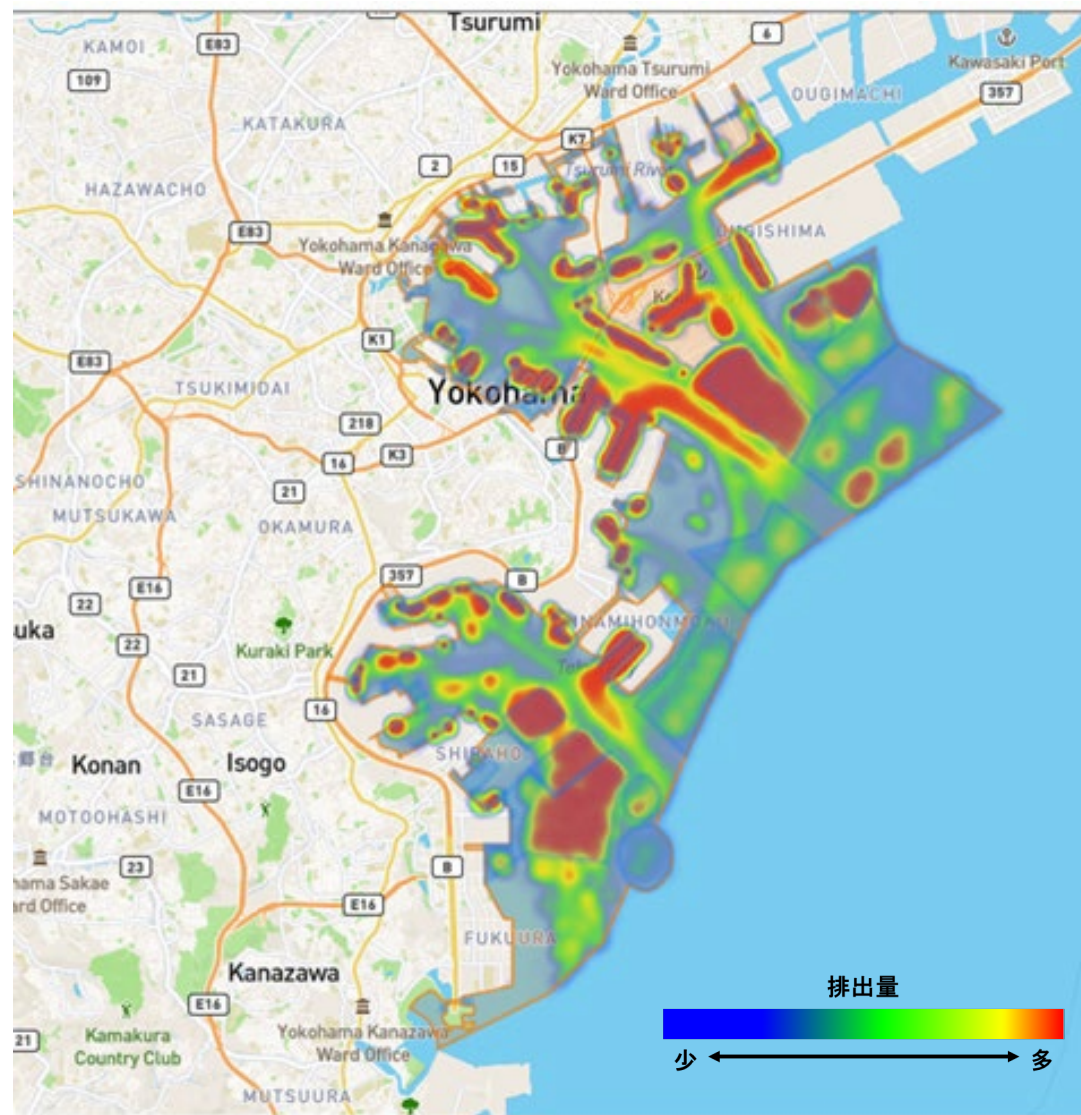


港湾内の船舶から排出される CO₂ 等の排出ガスを把握し、削減に向けた取組を官民で進めるため、Right Ship社(本社:オーストラリア)の「Maritime Emissions Portal」(MEP)を日本で初めて活用し始めました。

当システムは、船舶を自動で識別し、Right Ship社が独自に収集した船舶情報のデータと合わせることで、船舶からの排出ガスを把握し、可視化するものです。

接岸中の船舶だけでなく、沖合で停泊中の船舶からも多くのCO₂ 等のガスが排出されていることが可視化できました。

<https://rightship.com/>



次世代船舶燃料の普及促進① アンモニアバンカリング

日本郵船グループが商業運航可能なアンモニア燃料船(※)を世界で初めて建造しました。
2024年7月には、本牧ふ頭において世界初のTruck to Ship方式によるアンモニアバンカリングが実現しました。



★
バンカリング場所
@本牧ふ頭A4岸壁

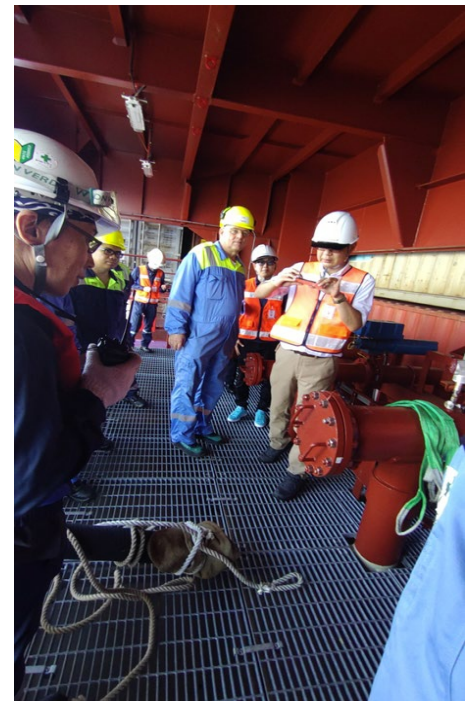
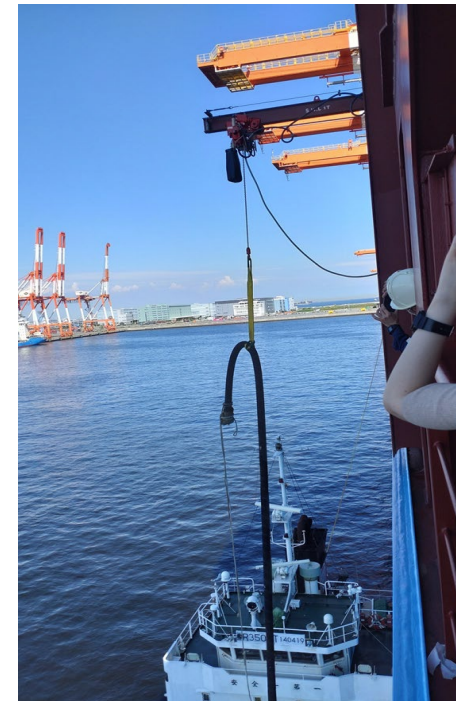
横浜市は、岸壁の利用に関する調整を行うほか、関係者と連携して取組を支援しています。
今後は、東京湾でのタグボート業務に従事する予定です。

次世代船舶燃料の普及促進② グリーンメタノールバンカリング

2024年9月、南本牧ふ頭にて、横浜市は、YKIP及びマースク社、三菱ガス化学株式会社、出光興産株式会社等と連携してバンカリングシミュレーションを実施しました。

ケミカルタンカーをメタノール燃料コンテナ船に接舷し、ホース接続の課題を含め、メタノールバンカリングのオペレーションを確認しました。

また、国土交通省港湾局主催のメタノールバンカリングあり方検討会にも参画しています。



MAERSK



MITSUBISHI GAS CHEMICAL

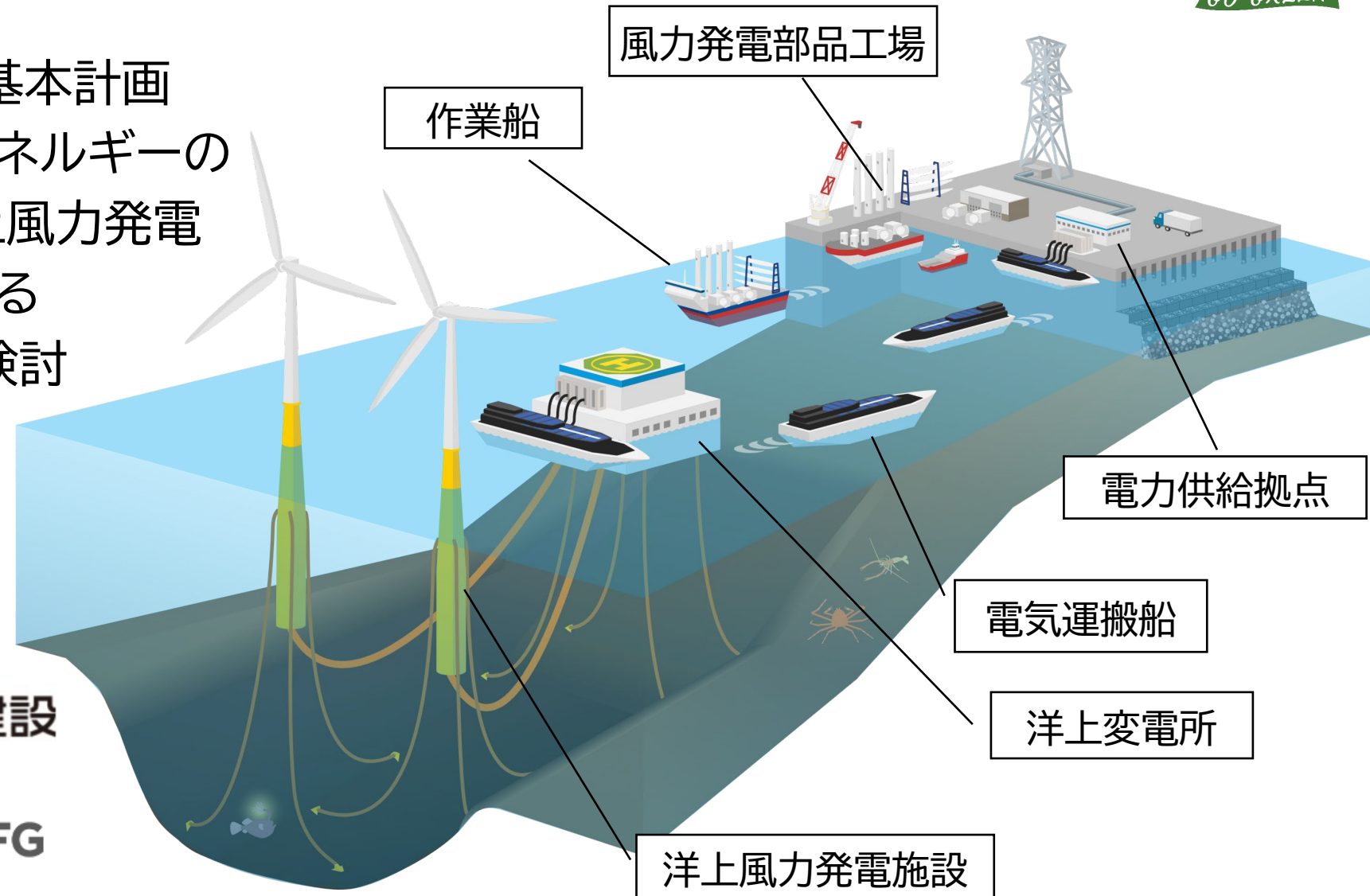


idemitsu

UYENO

洋上風力によるグリーン電力供給拠点の形成に向けた取組

2025年1月 エネルギー基本計画
改訂案の中で、再生可能エネルギーの
「切り札」とされている洋上風力発電
について、電気運搬船による
横浜港への供給可能性を検討
するため、民間企業4社と、
覚書を締結しました。



洋上風力発電によるグリーン電力を横浜市臨海部を起点として供給する方法の検討に関する覚書を締結（2025年1月24日）



左から東京電力パワーグリッド株式会社 常務執行役員 佐藤 育子 様、株式会社三菱UFJ銀行 東京公務部長 吉田 泰介 様、
横浜市 平原 敏英 副市長、戸田建設株式会社 執行役員GX統轄部長 中井 智巳 様、
株式会社海上パワーグリッド 代表取締役会長 伊藤 正裕 様 （三菱UFJ銀行本店にて）

横浜港港湾脱炭素化推進計画

横浜港の脱炭素化を推進するため、港湾法に基づく「横浜港港湾脱炭素化推進計画」を官民連携して作成しています。令和7年3月公表予定です。

横浜港港湾脱炭素化推進計画
(案)



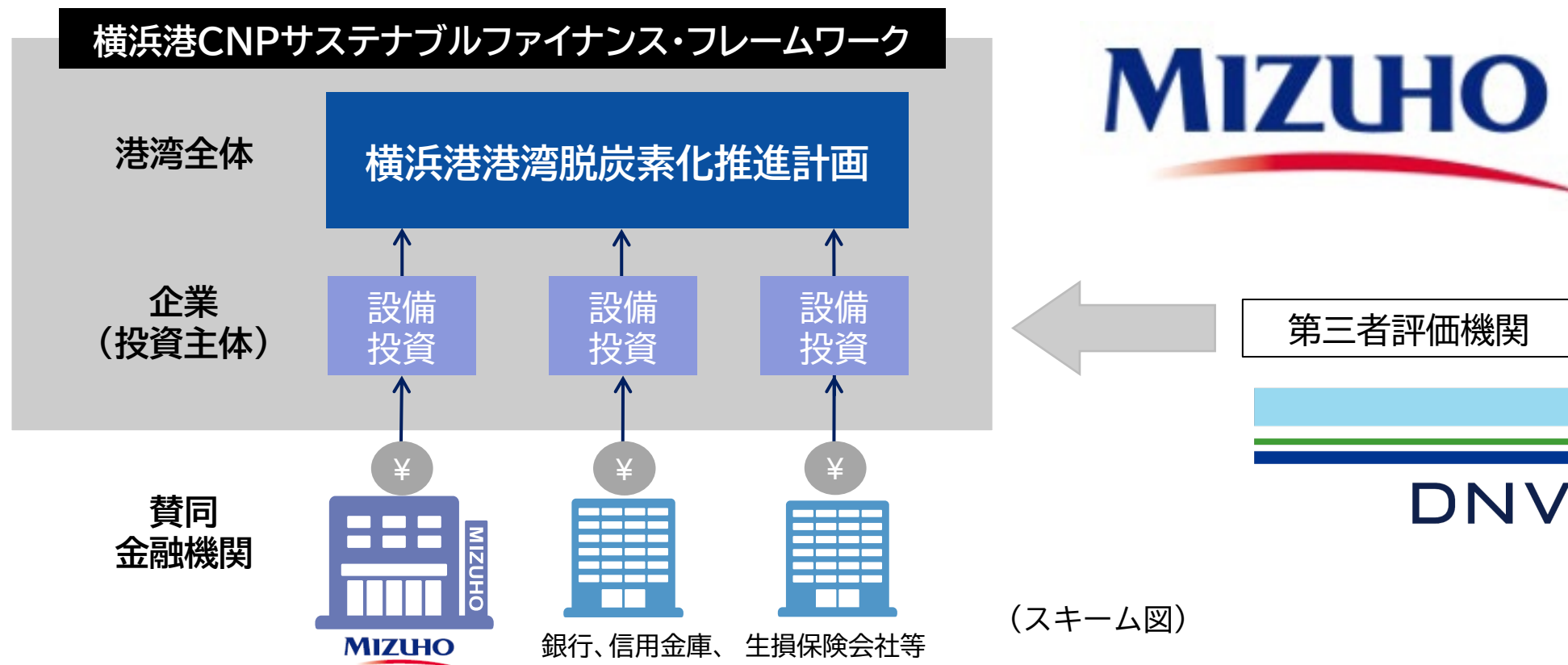
令和6年(2024年)12月
横浜市(横浜港港湾管理者)

計画に定めている民間事業者等の港湾脱炭素化促進事業
39主体118事業(2025年1月31日現在)

港湾脱炭素化促進事業 例	実施主体
次世代エネルギー・再生可能エネルギー等の導入	横浜市、民間事業者
低・脱炭素化荷役機械の導入	民間事業者
陸上電力供給設備の整備	横浜市、民間事業者
次世代燃料船舶への燃料供給	横浜市、民間事業者
EV・FCVの導入	横浜市、民間事業者
照明のLED化、省エネ機器の導入	横浜市、民間事業者
蓄電池の導入	民間事業者
ブルーカーボンの形成	横浜市

横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク

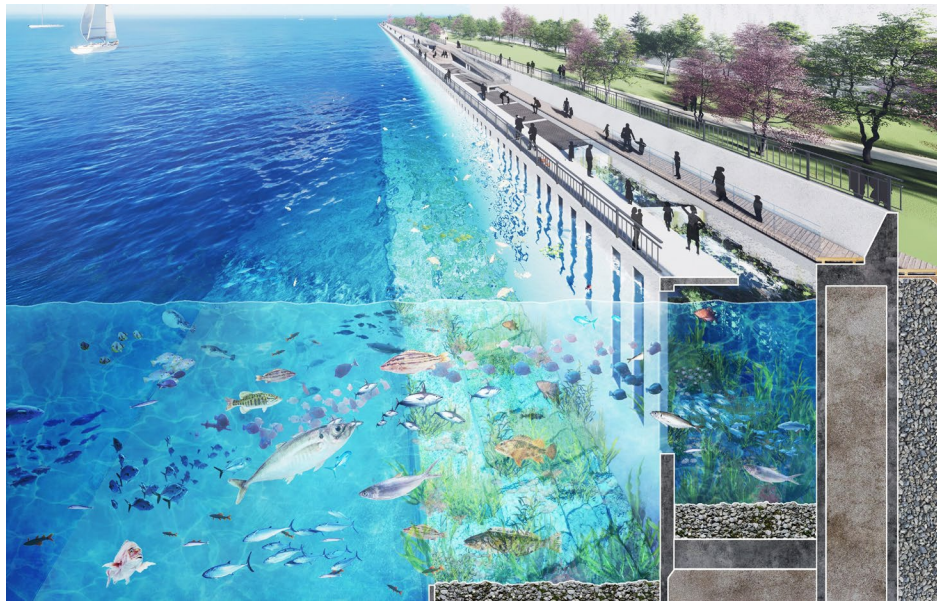
横浜港港湾脱炭素化推進計画に定める民間事業者等の脱炭素化の取組を推進するため、横浜市と株式会社みずほ銀行は、新たな金融支援の仕組みとして、横浜港CNPサステナブルファイナンスフレームワークを共同作成しています。



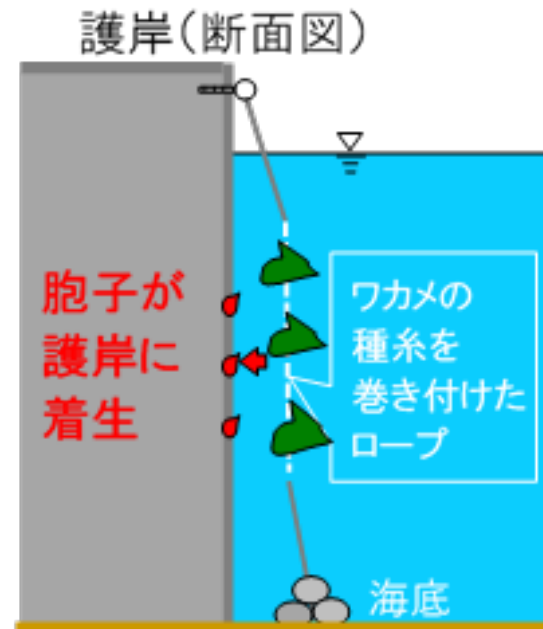
ブルーカーボンの推進

現在、新本牧心頭では、「生物共生型護岸」として、護岸の壁面に波を穏やかにするスリットを設け、海藻や海生生物が生息する自然の岩礁を再現しており、藻類やカサゴ等の魚が確認されるなどの整備効果が見受けられます。

また、全長約140 kmに渡る横浜港の水際線をブルーカーボンに活用するため、護岸表面にCO₂を吸収するワカメ等を繁茂させる実証実験を行っています。



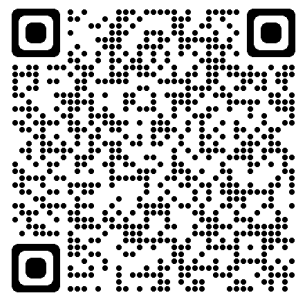
【生物共生型護岸のイメージ】



【実証実験のイメージ】



【生物共生型護岸のワカメ】



ご清聴ありがとうございました

横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/torikumi/cnp/top.html>

